

重光議員、岩崎議員が聴く 東広島市の水産業について

表紙写真／話をお聞きした皆さん

安芸津町では、海流が穏やかであることから、古くからかき養殖が盛んに行われており、季節によっていろいろな種類の魚が水揚げされています。また、水産資源を保全するため漁礁の設置、種苗（メバル、オニオコゼなどの稚魚）の放流、海底堆積物（ゴミ）の除去などを計画的に行っています。安芸津には安芸津漁業協同組合と早田原漁業協同組合の2つの漁協があり、代表理事組合長にインタビューしました。

プロフィール



安芸津漁業協同組合
代表理事組合長 柴 孝利さん



早田原漁業協同組合
代表理事組合長 森尾 龍也さん

水質悪化の要因追求と、

干潟の再生を。

Q 組合での活動と近況を教えてください。

柴組合長 安芸津漁協は、信用、共済、購買の3部門に分かれています。現在組合員は33名に減っており、高齢化と後継ぎ不足のため、工場等に勤務されて

いる方が定年後に組合員になってくれると思います。

森尾組合長 早田原漁協では、組合業務としては信用事業を初め共済事業、あとは購買もやっています。正組合員は今現在24名で、もう本当にギリギリの組

合員です。準組合員は少しずつではありますが増やしていく形で進んでいます。正組合員は減少傾向にありますので、一番

Q 水揚げは、昔と比べてどうですか。
大きな課題です。

森尾組合長 随分違います。カキの養殖は横ばいですが。波はあります。いいときもあれば悪いときもあります。

柴組合長 ※漁労に関しては半分以下になります。専業で生計を立てている人はいますが、平均年齢は80歳ですから、もう10年もしたら漁労の組合員はいなくなるかと予測しています。それだけ高齢化しています。カキの養殖業の方は若いとは言っても、

※ [用語解説] 漁労 魚介類、海藻を捕獲・収集する活動のこと。



②



③



①



④



⑤

- ① インタビュー風景
- ② 安芸津漁業協同組合
- ③ 早田原漁業協同組合
- ④ 三津湾
- ⑤ 安芸津カキ

平均50歳位ですね。

森尾組合長 漁労は専門にしている人数が何名かいても、結局本腰入れてやっているのは一人ですかね。あとは年金をもらいながら従事しています。

Q 組合員の資格についてはどのようなものですか。

柴組合長 加入脱退は自由です。本市に住んでおられる方で、船があつて漁師をしてみたいという志のある人は、まずは準組合員になれます。漁の日数など要件を満たせば正組合員になれます。

Q カキ打ち作業の外国人労働者について、安芸津での現状はどうでしょうか。

柴組合長 安芸津でもみんなそうです。若い力が彼らです。中には逃げ出す方も僅かですがいます。

Q カキ殻の再利用等の海を再生させる取り組みについて、どのように考えていらっしゃいますか。

森尾組合長 今からの課題としては、やはり干潟の再生です。市のほうで、海自体が悪くなっ

た要因を追求して対策を提示していただければという思いはあります。その過程で仮にカキ殻が利用できるのであれば使っていただきたいです。

柴組合長 林業・農業でも使えるものがあればいいんじゃないかと思っています。今は実際JAさんが売っていますが。

森尾組合長 カキ殻を洗った残渣で、カキ殻が粉末状になったごみが出るんですが、今は業者と市が負担をして、干潟造成という区画を設けてそこへ捨てさせてもらっています。ただそれは現在お金がかかるわけです。また、以前行った鉄炭団子も効果は期待できると思います。海に今一番不足しているものは鉄分だといわれています。

Q 行政に対して要望はありますか。

柴組合長 去年の水害の爪痕がまだ残っている河川復旧を願っています。そうすれば問題となっている川の水もうまく流れるようになると思います。